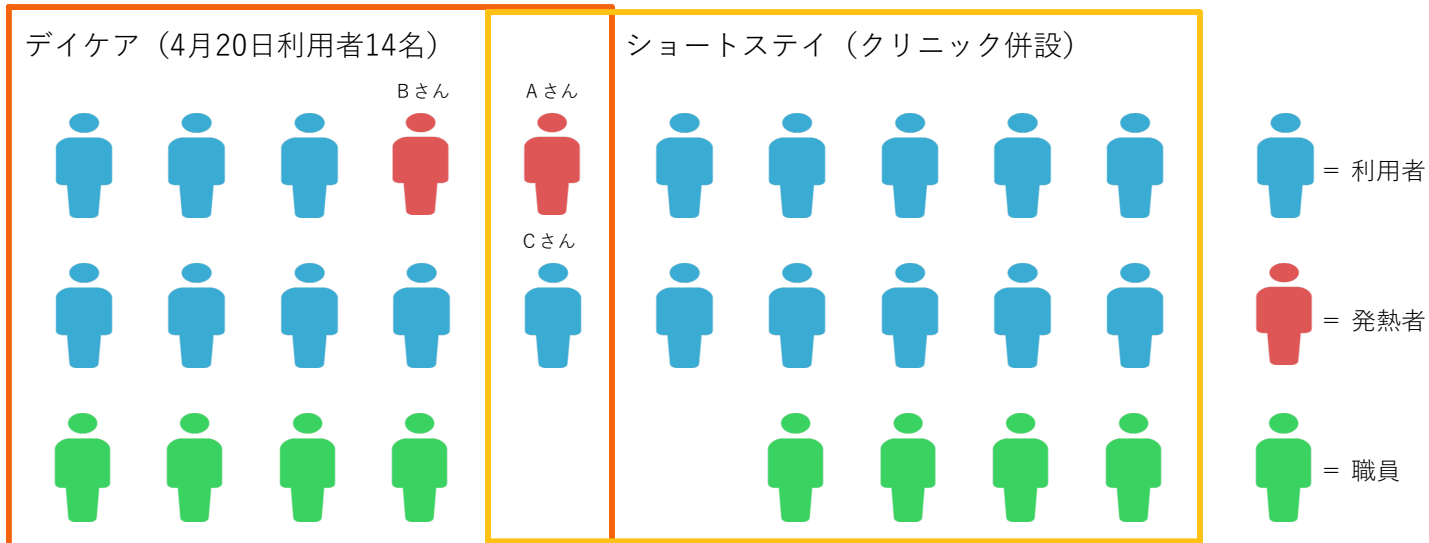


クリニック併設のデイケアのご利用者が連続して発熱した件の関連図（うち1名が偽感染者）



【個人での対応】

デイケアを利用中のAさんは4月20日のサービス利用中に37.7℃の発熱、家族に迎えを依頼して帰宅してもらい、それ以降のサービス利用（週末にショートステイを利用予定であった）は控えていただく。その後も発熱（軽い咳症状あり）が続き、4日間以上発熱が続いたため家族より保健所へ連絡、24日にPCR検査を受け、翌週の27日に「陰性」であったとの連絡がある。

※PCR検査（24日）で翌日の夕方には「陰性」という判定結果は出ており、それを家族からの連絡がないまま27日時点での確認となった。

デイケアを利用中のBさんは4月21日のサービス利用中に37.7℃の発熱、家族へ迎えを依頼して帰宅してもらう。翌日には解熱し、その後は発熱等の症状なく経過する。

デイケアを利用中のCさんはクリニック併設のショートステイを週末に利用する予定であったが、偽感染者との接触があったため、利用を見送ることとした。

【法人での対応】

デイケアにて4月20日、21日と連続して発熱者が出たため、22日より『自主休業』とした。

※休業期間中はデイケアの責任者のみが出勤し、関係者との連絡調整を行う。

利用者Aさんの発熱が続いたため、クリニック併設のショートステイにおいて、デイケアを利用されている方でショートステイを併用している場合は感染拡大防止のため、利用を一時的に控えていただくこととした。

25日時点でPCR検査の結果が分からなかったため、翌週の27日も休業とし、同日「陰性」であったことの連絡を受け、28日より通常営業とした。